

災害の歴史

—地震・火山・火災—

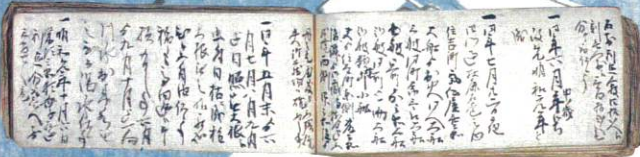
黒焼
川八書

中屋鋪
下屋鋪

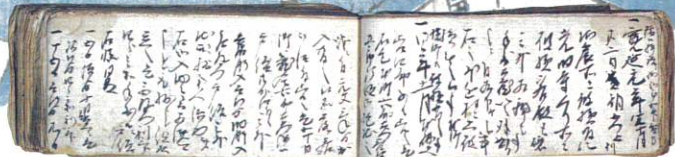
坂方御紋ハ



あんしん要石 埼玉県立博物館所蔵



万水留 林哲子氏所蔵



平成11年4月23日(金)～6月6日(日)

※期間中展示替えを行います。

●観覧料金 一般・大学生300円(240円) 高校生150円(120円)
小・中学生80円(60円)

●休館日 4月26・30日 5月6・10・17・24・31日
●後援 河北新報・石巻日日新聞社

※上記料金で企画展・常設展とも観覧できます。
()内は20名以上の団体及び文化センター友の会会員料金。

三陸河北新報社・ 仙台放送局

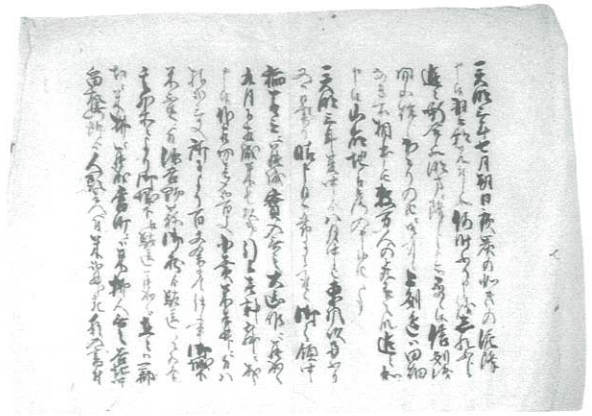
石巻文化センター

石巻市南浜市一丁目7-30 TEL.0225-94-2811

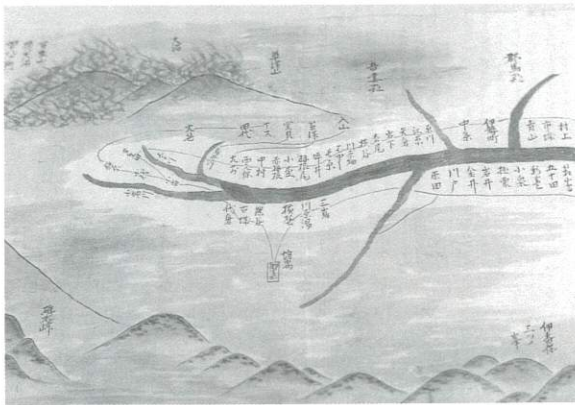
背景/[江戸丸山火事] 毛利 伸氏所蔵



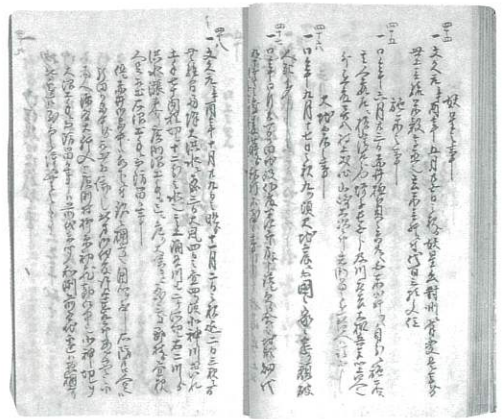
安政見聞誌／個人蔵



【日記】／林 哲子氏所蔵



天明三癸卯年七月浅間嶽大焼井上筋蛇水之図(部分)／群馬県立歴史博物館所蔵



大原牧之丞書留覚／大原 繁氏所蔵

【開催趣旨】

20余年前に発生した宮城県沖地震をはじめ、釧路沖地震、日本海西部地震、そして4年前の阪神・淡路大震災と、際だって大きな地震とそれに伴う津波が日本を襲っていますが、そうした記憶も時とともに忘れ去られようとしています。

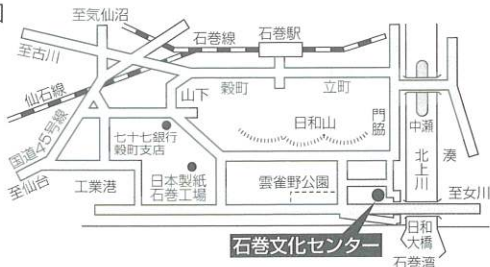
狭い国土に人口が密集している日本では、古くから自然災害、人為的災害の記録が数多く残されており、特別の関心が払われていました。江戸時代には、多様で詳細な記録が見られます。また、災害に関する出版物もさまざまあり、人々の日常生活に及ぼした影響を知らせてくれています。

今回の展示では、江戸時代を代表する地震、火山の噴火、そして火災に関する瓦版や記録・絵図等から、歴史災害の様相を探ります。

●交通案内

- ①市内循環バス利用の場合(石巻駅前バス停より)山下回り、門脇回りとも石巻文化センター前下車
- ②タクシー利用の場合 石巻駅から約10分

●位置図



江戸大地震並二出火細鑑／国立科学博物館所蔵